



異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理

- 異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理 (1 ページ)
- シナリオ : HXDP 3.0 で動作するサイト A と HXDP 2.6 で動作するサイト B (1 ページ)
- シナリオ : HXDP 2.6 で動作するサイト A と HXDP 3.0 で動作するサイト B (3 ページ)
- 機能に関する制限事項 (5 ページ)

異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理

シナリオ : HXDP 3.0 で動作するサイト A と HXDP 2.6 で動作するサイト B

次の用語および略称を使用します。

- **サイト A** : ソース クラスタ
- **サイト B** : ターゲット クラスタ
- **dr_cleanup ツール** : Cisco TAC に連絡し、3.0 内部サポート パッケージで利用可能なこのツールを入手します。

前提条件

- アップグレードの前に、[回復済み (Recovered)] または [中止 (Halted)] 状態の VM またはグループがないことを確認します。
- VM が [中止 (Halted)] 状態になっている場合は、その VM またはグループをリカバリして保護を解除します。
- VM が [回復済み (Recovered)] 状態になっている場合は、その VM またはグループの保護を解除します。

シナリオ：HXDP 3.0 で動作するサイト A と HXDP 2.6 で動作するサイト B

ステップ	サイト A	サイト B	結果
1.	バージョン 2.6 以前の HXDP で動作。	バージョン 2.6 以前の HXDP で動作。	—
2.	HXDP 3.0 にアップグレードします。	—	<ul style="list-style-type: none"> • 進行中のレプリケーションが継続されません。 • VM の計画済み移行はサポートされません。 • 詳細については、機能に関する制限事項 (5 ページ) を参照してください。
3.	サイト B をアップグレードする前にサイト A で障害が発生した場合。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のコマンドを実行します。 <i>stcli dp peer forget</i> 2. 必要な VM を回復します。 3. dr_cleanup ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。 	サイト B でワークロードが実行されるようになります。
4.	<p>サイト A を復元します。</p> <p>サイト A が復元された後、次の操作を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次のコマンドを実行します。 <i>stcli dp peer forget</i> 2. dr_cleanup ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。 	—	サイトのペアリングが解除されます。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
5.	—	HXDP 3.0 にアップグレードします。	—
6.	サイトをペアリングします。	—	サイト A とサイト B が再びペアになり、ワークロードを保護できるようになります。

シナリオ：HXDP 2.6 で動作するサイト A と HXDP 3.0 で動作するサイト B

次の用語および略称を使用します。

- **サイト A**：ソース クラスタ
- **サイト B**：ターゲット クラスタ
- **dr_cleanup ツール**：Cisco TAC に連絡し、3.0 内部サポート パッケージで利用可能なこのツールを入手します。

前提条件

- アップグレードの前に、[回復済み (Recovered)] または [中止 (Halted)] 状態の VM またはグループがないことを確認します。
- VM が [中止 (Halted)] 状態になっている場合は、その VM またはグループをリカバリして保護を解除します。
- VM が [回復済み (Recovered)] 状態になっている場合は、その VM またはグループの保護を解除します。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
1.	バージョン 2.6 以前の HXDP で動作。	バージョン 2.6 以前の HXDP で動作。	—

シナリオ：HXDP 2.6 で動作するサイト A と HXDP 3.0 で動作するサイト B

ステップ	サイト A	サイト B	結果
2.	—	HXDP 3.0 にアップグレードします。	<ul style="list-style-type: none"> • 進行中のレプリケーションが継続されます。 • VM の計画済み移行はサポートされません。 • 詳細については、機能に関する制限事項 (5 ページ) を参照してください。
3.	サイト A をアップグレードする前にサイト A で障害が発生した場合。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次のコマンドを実行します。 <i>stcli dp peer forget</i> 2. 必要な VM を回復します。 3. dr_cleanup ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。 	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのリカバリオプションを使用できるわけではありません。 • 詳細については、機能に関する制限事項 (5 ページ) を参照してください。 • サイト B でワークロードが実行されるようになります。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
4.	サイト A を復元します。 サイト A が復元された後、次の操作を行います。 1. 次のコマンドを実行します。 <code>stcli dp peer forget</code> 2. <code>dr_cleanup</code> ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。	—	サイトのペアリングが解除されます。
5.	サイト A を HXDP 3.0 にアップグレードします。	—	—
6.	—	サイトをペアリングします。	サイト A とサイト B が再びペアになり、ワークロードを保護できるようになります。

機能に関する制限事項

リリース 3.0 の新しい機能は、ソースクラスタとターゲットクラスタの両方が同じ HXDP バージョンで動作している場合にのみサポートされます。アップグレードの際、ソースとターゲットの両方が同じバージョンになるまでに時間がかかることがあります。次に示す機能の制限事項を確認してください。

- たとえばターゲットクラスタが 2.6、ソースクラスタが 3.0 である場合など、ピアサイトのバージョンが一致していない場合、VM の計画された移行はサポートされません。
- ソースがアップグレードされると、リリース 3.0 の新しい機能 (グループ VM の `movein` と `moveout` など) は、ピアがアップグレードされるまでソースクラスタ上でブロックされません。
- ターゲットクラスタのみがアップグレードされる場合、**HX Connect UI** では、[リカバリ (Recovery)] ダイアログボックスの [ネットワーク マッピング (Network Mapping)] オプションは、ソースクラスタをアップグレードするまで使用できません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。